

所在地：鳥取県鳥取市

応募区分：個別経営の部

認証：JGAP(2019年6月：

面積：237 m²

アイスパラント、クレソン、ベビーリーフ、
リーフレタス等 14 品目)

構成員：31 名

取組の紹介

- 同社は、特例子会社※の認定を受け、鳥取市の閉校した小学校施設を利用した植物工場で葉物野菜の栽培を行っている。東京オリンピックパラリンピックの食材としての出荷を目標に 2019 年 6 月に JGAP 認証を取得した。

※ 障害者の雇用の促進等に関する法律第 44 条の規定により、一定の要件を満たした上で厚生労働大臣の認可を受けて、障害者雇用率の算定において親会社の一事業所と見なされる子会社。

- 作業や栽培方法のマニュアルの整備や作業場所毎に写真やイラストによる表示が徹底され、作業員への作業内容の徹底、安全や衛生に対する意識の平準化、意識の向上が図られた。

- 経営者と 5 名のリーダーは、定例でミーティングを実施し、日常の課題の早期解決に努めるとともに、作業員へも毎日の朝礼を通じて周知する体制が整備されている。

- 当初廃棄していた水耕栽培用培養液の有効利用を検討し、土耕栽培に再利用することで、上水道の使用量を従来の半分程度に削減することができた。また、栽培用の光源をエコタイプ LED へ交換したことにより、電気代が前年に比べ 34%削減し、栽培期間の短縮も図ることができた。

- 他の特例子会社や植物工場へも積極的に GAP 認証について情報共有し、そのうち 1 社が GLOBAL G. A. P を取得した。



手洗いマニュアルの掲示



朝礼風景



収穫作業（水耕）